

連絡先:自動車交通局技術安全部審査課
リコール対策室
TEL:03-5253-8111 内線 42353
アドレス:http://www.mlit.go.jp

リコール届出一覧表

リコール届出日:平成20年 3月18日

リコール届出番号	2066	リコール開始日	平成20年3月18日
届出者の氏名又は名称	新キャタピラー三菱株式会社 代表取締役 平野 昭一 製作国:日本 製作者名:新キャタピラー三菱株式会社 問合せ先:相模カスタマーサポート部 TEL:042(764)8662		
不具合部位(部品名)	①動力伝達装置(ホース)、②駐車ブレーキレバー(位置検出スイッチ)		
基準不適合状態にあると認める構造、装置又は性能の状況及びその原因	① 走行用油圧ポンプのホースの組付け角度の指示が不適切なため、ホースと車体配線の隙間が狭くなり干渉する場合がある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、ホースから油が漏れるもしくは車体配線が断線し、最悪の場合、走行出来なくなるおそれがある。 ② キャノピー・オープン仕様の車両(運転者席の前面、側面及び後面が開放されているもの)において、駐車ブレーキレバーの位置を検出するスイッチの耐水性が不十分なため、スイッチ内部に水分が浸入し、スイッチが作動不良を起こすことがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、駐車ブレーキを解除しても走行出来なくなるおそれがある。		
改善措置の内容	① 全車両、ホースと車体配線を点検し、規定の隙間を確保できるよう調整する。又、ホース・車体配線が損傷しているものは新品と交換する。 ② 全車両、スイッチを対策品と交換する。		
不具合件数	① 1件 ② 2件	事故の有無	無し
発見の動機	市場からの情報による。		
自動車使用者及び自動車分解整備事業者に周知させるための措置	・使用者:使用者を全て把握しているので、ダイレクトメール若しくは電話で通知する。 ・自動車分解整備事業者:使用者を全て把握しているので、周知させるための措置はとらない。 ・改善処置済み車両には、キャブ後面ガラス左下、又は、キャノピー左支柱下にNo.2066のステッカーを貼付する。		

車名	型式	通称名	リコール対象車の車台番号(シリアル番号)の範囲及び製作期間	リコール対象車の台数	備考
キャタピラー	W7A	901B	W7A00116~W7A02485 平成16年6月15日~平成19年2月28日	2142台	①:2142台 ②:146台
	W8A	902B	W8A00117~W8A01258 平成16年6月16日~平成19年3月12日	1035台	①:1035台 ②:136台
	W8B	903B	W8B00118~W8B00577 平成16年6月17日~平成19年2月28日	411台	①:411台 ②:42台
	(計3型式)	(計3車種)	(製作期間全体の範囲) 平成16年6月15日~平成19年3月12日	(計3588台)	①:3588台 ②:324台

【注意事項】リコール対象車の車体番号範囲には、対象とならない車両も含まれている場合があります。